

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 **りはくる**

公表日 **令和7年2月28日**

回収率 **100%**

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		訪問支援に行っている時に、来客対応や電話対応が難しくなることがあるため、職員の配置や振替の調整に気をつけていく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	お子さんに合わせて、情報量を少なくしたり、配置を変えたり、視覚的に伝えられるようにしている。	うさぎの部屋の職員デスクに入り込む児がいるため、安全面を考慮し、柵などの設置を検討したり、お子さんの姿を再評価し、どうして入り込んでしまうのか原因を究明し、お子さんに合わせた対応を検討していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日、清掃と消毒を行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	必要に応じて、個別での関わりを作ったり、個別の部屋を設けて空間を区切って使用している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	年間、1ヶ月、1週間、その日などでどのように活動をするのかを関わるスタッフで話し合い、内容を決めている。その時の調子や状況に応じて、内容も変更する等、話し合いながら関わっている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	アンケートを実施し、HPIにて公表をしている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		第三者による外部評価を行なっておりませんが、必要に応じて検討をして参ります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	定期的にスタッフ主催での研修を行なっている。また、スタッフが気軽に研修に参加ができる制度がある。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	どのような支援をしているのかHPIになるべく載せるようにしている。	今後、HPIにも公表をして参ります。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	支援会議のみではなく、普段から情報共有に努め、それらも踏まえて個別支援計画を作成している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	1ヶ月に1回デイ会議を開催し、それ以外でもスタッフ同士で話し合っ活動を行っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	お子さんやグループに合わせて内容を検討している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	必要に応じて個別療育を行っている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼にて確認をしている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	振り返りをした内容を次回に取り入れ、その様子を踏まえて、また次回の支援を考えている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	定期的にモニタリングを行っている。	

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	こども部会に参加しております。	こども部会で話し合った内容をスタッフに周知していく。
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	保育所等訪問支援を活用して行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		地域と関わった活動は少ない。今後、必要に応じて実施を検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		今後必要に応じて検討していく。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	契約時に説明をさせていただいている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		今後、必要に応じて検討をしていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	HPを定期的に更新している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	今年度はスタッフが親の会で講習を行った。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	ヒヤリハットを共有して、どのようにしたらそうにならないか検討して取り入れるように努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1		現在、対象となる利用児がいないが、身体拘束の流れについて、スタッフと周知をしていく。

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	りはくる		
○保護者等評価実施期間	令和6年10月23日		～ 令和6年12月31日
○保護者等評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	支援会議のみではなく、普段から情報共有に努め、それらも踏まえて個別支援計画を作成している。	スタッフ全員が同じ目標に向かって支援を行えるように、スタッフと情報を共有しながら、計画を作成していく。
2	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている。	必要に応じて、個別での関わりを作ったり、個別の部屋を設けて空間を区切って使用している。	お子さんが安心して過ごせる環境を意識して、環境調整や支援を行っていく。
3	活動プログラムの立案をチームで行っている。	デイに入る支援員で、活動前やデイ会議の際に活動内容について話し合う時間を設けている。	プログラムが固定化されないように、常にチームの中で意見を出し合いながら、活動を検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会が少ない。	保育所等訪問支援での園との関わりは多いが、活動と一緒にする機会は少ない。	今後、必要に応じて実施を検討していく。
2	保護者同士で交流する機会を設ける等の支援が少ない。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援が少ない。	今年度は親子の会の勉強会講師をスタッフが行ったが、保護者同士の交流をする機会は少なかった。	今後、必要な要望に応じてスタッフ間で検討をしていく。
3	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている機会が少ない。	第三者による外部評価を受ける機会が少ない。	必要に応じて、第三者による外部評価を受けることを会社として検討していく。